

令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会  
第2回定例会会議録

1 開催日時 令和5年2月9日(木)午後1時28分から午後1時56分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

浅井 実男	委員長	舟橋 逸喜	副委員長	馬場 正司	委員
稲垣 幸子	委員	井戸田通敬	委員	武 勤	委員
橋本 弘二	委員	余語 正義	委員	松井 義夫	委員
前川 康男	委員	橋本 秀明	委員		
河村 典久	委員(学識経験者)			鈴木 尚紀	委員
片岡 和浩	委員	隅田 昌輝	委員		

欠席委員

上田 真哉	委員	梶 進	委員
-------	----	-----	----

事務局

永井 浩仁	事務局長	熊崎 礎功	業務課長
今枝 里美	総務課長	服部 和宏	業務課長補佐
佐藤 豪洋	業務課施設管理係長	堀田 易伯	総務課会計係長

4 議題

- (1) 令和4年下半期ごみ溶融炉運転状況について
- (2) 令和4年夏季、秋季気象調査について
- (3) 調整池からの排水調査について

5 会議資料

- ・ 令和4年下半期ごみ溶融炉運転状況
- ・ 気象調査(通年観測・特別観測)報告書
- ・ 調整池からの排水調査報告書

6 議事内容

今枝総務課長：本日は、お忙しい中、ご出席していただきましてありがとうございます。本日、野口区の上田委員、梶委員からご欠席の連絡をいただ

いておりますので始めさせていただきます。只今から令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第2回定例会を開会いたします。本日の出席委員は、15名であります。環境センター管理委員会要綱第5条の規定により、会議は成立をいたします。次第に従いまして、委員長からごあいさつを頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

浅井委員長：あいさつ

今枝総務課長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長をお願いいたします。

浅井委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和4年下半期ごみ溶融炉運転状況について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

熊崎業務課長：資料をご覧ください。(1) 令和4年下半期ごみ溶融炉運転状況について、説明させていただきます。

1ページをご覧ください。令和4年7月から12月までのごみ溶融炉運転状況について、説明いたします。1号炉は、7月1日からの25日間を含み、103日間の運転を行いました。2号炉は、7月1日からの27日間を含み、150日間の運転を行いました。1号炉・2号炉並列運転日数につきましては、合計94日間でした。

続きまして、2ページの運転実績です。7月から12月までの下半期合計は、搬入日数が157日、可燃ごみ量20,426.40t、破碎残渣物が1,963.95tで、搬入量合計が22,390.35t、大塊スラグは244.29tでした。溶融処理量につきましては、1号炉の溶融日数103日、溶融量9,107.87t、2号炉の溶融日数150日、溶融量13,561.52t、合計日数253日、合計溶融量22,669.39tでした。また、スラグ、メタル排出量合計は2,331.95t、ごみ汚水量合計の203.66tについては、燃焼室へ噴霧処理を行い処理し、ピット放水量等については175.55tです。令和4年合計としては、溶融処理量の合計で44,626.13t、令和3年と比較しますと、率でマイナス3.08%、量では、1,417.82tの減少でした。

続きまして、3ページをご覧ください。令和4年下半期の環境センター調査概要についてです。(1)目的、(2)測定地点につきましては、変更はありません。(3)の測定機関と測定月につきましては、①排ガス濃度の手分析、令和4年7月から12月における測定機関は、株式会社東海分析化学研究所であります。9月2日に測定を行った機関に関しては、株式会社環境公害センターにて実施しております。続いて、自動連続測定は令和4年7月から12月、②排水については令和4年7月、③騒音振動については、令和4年6月と12月、④臭気については令和4年7月です。4ページの(4)測定項目に、変更はありません。

続きまして、5ページの排ガス濃度測定結果(手分析)をご覧ください。

1号炉は7月、8月、9月、10月、11月、2号炉は8月、9月、11月、12月に測定を行っております。測定結果につきましては表中に記載されたとおりです。

続きまして、6ページの排出ガス濃度測定結果の（自動連続測定）についても、表中に記載されたとおりで、協定基準値以下の値でした。次に、7ページの場内からの雨水排水測定結果について報告します。測定日は7月14日です。1のカドミウム及びその化合物から1,4-ジオキサンまでの28項目について協定基準値以下の値でした。

続きまして、8ページの騒音・振動測定結果について報告します。1、騒音測定の結果は、6月30日からの24時間の測定結果について、昼間の時間帯で説明させていただきます。測定地点①42dB、②42dB、③45dB、④40dB、⑤48dB、⑥49dBでした。以下、夕、夜間、朝の時間帯で測定した結果は表中に記載されたとおりで、12月1日からの24時間の測定結果と合わせ、協定基準値以下の値でした。なお、測定値は、敷地境界線上での測定で、除外できない周辺騒音を含んだ値となっています。2、振動測定の結果は、昼間及び夜間の時間帯に測定を行い、6月30日測定と12月1日測定において、測定地点①から⑥の全て30dB未満であり、協定基準値以下の値でした。

続きまして、9ページの臭気測定結果について報告します。測定日は7月8日です。1のアンモニアからキシレンの22項目、及び臭気指数において協定基準値以下の値でした。10ページは、各種測定箇所的位置図になります。

続きまして、11ページをご覧ください。上段のグラフは、年間の可燃ごみの搬入量の実績と、前年同月比のグラフになります。令和4年が39,850.17tで、令和3年より558.33t、率で1.38%の減少になりました。下段のグラフは総ごみの搬入量の実績と前年同月比のグラフになります。令和4年が44,426.08tで、令和3年より1,004.34t、率で2.21%の減少になりました。12ページからは資料となります。

以上で報告を終わります。

浅井委員長：事務局の説明は終わりました。何かご質問があればお伺いしたいと思います。

余語委員：以前、夏場の騒音の測定で、セミの声で騒音が大きくなったということがありましたが、測定される際に何か工夫とかされていますか。2点目が、9月の臨時会の時に河村先生が、測定3回ではなく、3回同じことを行う。同じサンプルを3回機械で行っても意味がないと言われて、熊崎業務課長さんが分析業者に確認しますということでしたが、その結果はどのようなになったか教えてください。

熊崎業務課長：1点目の騒音に関しては、周辺環境騒音ということで、セミの声などは除外し、なるべくその時期を外して測定を行っております。2点目に関しては、測定業者に問合せをしましたが、1回しか測定しておりません。4時間サンプリングをして分析を行うので、分析のサンプリングのものは

1個しかないためそれを分析しております。その中で、確実にするために試料から2回測定を行うことはあると思います。実際サンプルは、1個しかないのをそれを分析しております。

余語委員：分かりました。

河村委員：少し補足します。先ほどサンプルは1つしかないと説明がありましたが、本来ならば3回に分けて、後で再現が出来るような測定をするのが普通です。業者は1回しか行ってないから1回しかやらない。測定は何回行っても、処理段階でトラブルがあるとチェックが出来なくなる。だから、サンプルを3回に分けて行うのは原則です。それを行っていないのは、まづい気がします。

熊崎業務課長：測定業者と検討させていただきます。

浅井委員長：ほかにご質問等よろしかったでしょうか。

浅井委員長：質問等がなければ、議題1については、終了させていただきます。

続きまして、議題2「令和4年夏季、秋季気象調査について」及び議題3「調整池からの排水調査について」を一括議題といたします。事務局の説明をお願いします。

服部業務課長補佐：議題2の説明をさせていただきます。資料2、気象調査、通年観測報告書と特別観測報告書の1ページをご覧ください。第1章、調査概要の1-1 目的、1-2 調査地点につきましては変更ありません。1-3 調査期間通年夏季調査期間は、令和4年6月1日から令和4年8月31日まで、通年秋季調査期間は、令和4年9月1日から令和4年11月30日まで、特別観測秋季調査期間は、令和4年10月21日から令和4年10月27日までの7日間です。1-4 調査機関は一般財団法人 日本気象協会です。1-5 調査項目及び測定方法ですが、調査項目に関し紹介いたします。気象項目は、風向・風速、大気質項目は、二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、塩化水素、データ監視として定時を1日2回、その他に随時実施しております。2ページは、調査地点図になります。

続きまして、3ページをご覧ください。第2章、調査結果を報告させていただきます。風向・風速、通年観測調査は、夏季について説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、東からの風 10.1%、南東からの風 8.4%、東南東からの風 8.3%、環境センターが位置する北からの風の頻度は 3.9%でした。平均風速は、毎秒 1.5m で、最大風速は、6月7日 15時に西からの風、毎秒 6.7m を観測しました。秋季の調査結果につきましては、表中に記載されたとおりです。

続きまして、風向・風速 特別観測調査について報告させていただきます。期間中の気温、湿度については、環境センター地点で平均気温 15.3℃、平均湿度は 63%でした。風向・風速につきましては、野口地点で説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、北北東からの風

が 11.9%、西からの風が 10.1%、西北西からの風が 8.9%、北西からの風が 8.3%でした。環境センター方向からの風の頻度は、北からの風 6.0%を観測し、平均風速は、毎秒 1.6m で、最大風速につきましては、10月 25 日の 1 時に北北東からの風が毎秒 6.5m を観測しました。ほか、林地地点、大山地点、環境センター地点の測定結果につきましては、表中に記載されたとおりです。

続きまして、4 ページをご覧ください。環境濃度、通年観測・特別観測につきましては、通年観測 野口地点で、説明させていただきます。二酸化硫黄の夏季秋季の最高値は共に、0.002ppm。二酸化窒素の夏季の最高値は、0.010ppm。秋季の最高値は 0.013ppm。浮遊粒子状物質の夏季の最高値は、0.056 mg/m<sup>3</sup>。秋季の最高値は、0.036mg/m<sup>3</sup>。塩化水素の夏季秋季の最高値は共に、0.001ppm。特別観測につきましては、表中に記載されたとおりです。5 ページは、特別観測全日データ（秋季）の調査地点での風向風速を表した図であり、6 ページは、風向別出現頻度及び平均風速、特別観測全日データ（秋季）の表になります。

続きまして、資料 3 調整池からの排水調査報告書の 1 ページをご覧ください。第 1 章、調査概要の 1-1 目的、1-2 調査地点につきましては変更ありません。1-3 調査日は、令和 4 年 10 月 6 日になります。1-4 調査項目及び調査方法については、表 1-1 に示すとおりです。2 ページは水質調査地点位置図になります。

続きまして、3 ページをご覧ください。第 2 章、調査結果を報告させていただきます。水素イオン濃度は PH8.1、生物化学的酸素要求量は 2.9mg/L、化学的酸素要求量は 4.7mg/L、溶存酸素量は 9.0mg/L、浮遊物質量は 2.6mg/L でありました。

以上で、議題 2 「令和 4 年夏季、秋季気象調査について」、議題 3 「調整池からの排水調査について」の報告を終わります。

浅井委員長：ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。これにつきまして何かご質問等があればお聞きいたします。

浅井委員長：ないようでありますので、議題 2 及び議題 3 については、終了とします。続きまして「その他」について、事務局から何かあればお願いいたします。

今枝総務課長：2 点程連絡をさせていただきます。本日お集まりいただきました委員の皆さまの任期は、令和 5 年 3 月 31 日までとなっております。各区長さんには、来年度からの新しい委員さんのご推薦をしていただきたく、書類を配付させていただいております。誠に恐縮ではありますが、承諾書につきましては、3 月 29 日までにご提出いただきますようよろしくお願いいたします。2 点目ですが、各委員さんに令和 4 年の委員報酬に係る源泉徴収票を配付させていただいておりますのでご確認をいただきますようお願いいたします。

熊崎業務課長：今後の溶融炉運転管理についての報告になります。ごみ溶融炉の運転操作につきましては、1日24時間を3交代制にて、全5班体制で運用しておりますが、令和3年度から1班を委託しております。その委託班には、組合職員も1名常駐監視しながら運用を行っておりますが、これまでの間、問題なく経過してまいりました。令和5年度においては、委託班をもう1班増やし、2班を委託、他3班は直営職員の運用を予定しております。委託班には組合職員の常駐監視を継続してまいります。今後も、安全安心な施設の運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

永井事務局長：委員の皆様方の任期でございますけれども、この3月までということで、今回最後の委員会になるかと思えます。これまで委員をお引き受けくださりまして、ありがとうございました。この場をおかりいたしましてお礼を申し上げます。

事務局からは以上でございます。

浅井委員長：今、局長からお礼の言葉がありましたが、2年間皆様方には委員ということでご足労をお掛けいたしました。3月末をもって2年間終了となります。私からも皆様方にご協力をいただきお礼を申し上げます。

浅井委員長：ほかによろしいですか。

浅井委員長：ないようでありますので、本日予定しておりました議事を全て終了します。これをもちまして、令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第2回定例会を閉会いたします。本日は、お疲れ様でした。